
令和8年度

「運営に関する計画」

— 明日も来たくなる学校をめざして —

大阪市立北稜中学校

令和8年4月

大阪市立北稜中学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

■ 現状と課題

本校は、令和5年度の生徒の自死事案を決して風化させず、「小さな兆しを見過ごさず、丁寧に受け止めること」「ひとりに抱えさせない（教職員は必ず組織対応）」を行動原則とし、令和8年3月に「いじめ防止基本方針（北稜モデル）」を全面改訂した。72時間以内の初期対応フロー、部活動内いじめ防止の章を新設するなど、いじめ対応の組織力を学校全体で高めている。R7のいじめ認知件数は9件（1000人率19.9、大阪市25.0）であり、「積極的に認知する」姿勢を引き続き徹底する。

R7の全国学力学習状況調査では「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか」に最も肯定的な「思う」と回答した生徒が81.8%（R6:69.1%）に向上した。一方、生徒アンケートでは「困ったとき相談できる大人がいる」の肯定が81.3%（「よくあてはまる」31.4%）にとどまり、校長としては「5人に1人がまだそう思っていない」ことを重く受け止めている。

「こころの天気」の肯定率も69.5%であり、「書いているけれど意味を感じていない」生徒がいることへの対応が急務である。

不登校生徒の在籍比率は4.8%（R6:7.8%）に改善したが、依然大きな課題。前年度不登校20名中10名（50%）が改善。本校は「大阪市総合教育センター研究校」として「不登校の未然防止・解決に向けた研究」に取り組んでおり（3年目）、リソースルーム・ステップルームの運営実績を全校に広げる段階にある。

学力面では全国学力調査の正答率が国語60（全国54.3）・数学60（全国48.3）で全国平均を上回る。チャレンジテスト対府比は新3年：国語1.13・数学1.18、新2年：国語1.15・数学1.28、英語力CEFR A1以上85.7%（大阪市60.3%）。授業に関する生徒アンケートの肯定率は高水準であるが、「授業で分からないことを質問しやすい」は81.3%にとどまり、「聞きたいけど聞きづらい」生徒への手立てが課題である。

体力合計点は男子39.1（全国42.2）・女子45.8（全国47.6）で男子が大きく下回った。「運動やスポーツが好き」は肯定83.8%だが、体力の実態との乖離がある。

教職員の約6割が経験10年以下の若手であり、いじめ対応・不登校支援・授業力の三本柱で研修を充実させる必要がある。働き方改革は進みつつあるが超過勤務の削減が十分でなく、行事の精選と校務の合理化が引き続きの課題である。

■ 1 学校運営の中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・「いじめ防止基本方針（北稜モデル）」に基づく組織的ないじめ対応を全教職員に定着させ、振り返りチェックシートにおける基本方針に基づく対応の回答率を毎年 100%にする。
- ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して肯定的に回答する生徒の割合を令和 11 年度末までに 85%以上にする。
- ・不登校生徒の在籍比率を令和 11 年度末までに 3.5%以下に、前年度不登校生徒の改善割合を 55%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・チャレンジテスト国語・数学の対府比をいずれの学年も 1.15 以上に維持する。英語力 CEFR A1 以上を 85%以上にする。
- ・「授業で分からないことを質問しやすい」の肯定的回答を 85%以上にし、「聞きたいけど聞きづらい」生徒を減らす。（R7 実績：81.2%）
- ・体力合計点の対全国比を男女ともに令和 11 年度末までに 0.95 以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・学習者用端末を活用した情報収集・整理・表現の肯定的回答を 90%以上にする。
- ・教員の月平均時間外勤務を 30 時間以下、年 720 時間超の教員をゼロにする。

■ 2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

〔通番 40〕いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「『大阪市いじめ対策基本方針』に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を 100%にする。

〔通番 41〕年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度（4.8%）より減少させる。

学校の独自設定

- ・年度目標アンケートにおける「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を 85%以上にする（R7 参考値 81.3%）。
- ・前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる（R7 実績：50%）。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

〔通番 51・52〕チャレンジテスト国語・数学の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.03 ポイント向上させる。

〔通番 62・63〕体力合計点の対全国比を男女とも前年度より向上させる（R7 男子 0.926、女子 0.963）。年度目標アンケートにおける「運動やスポーツをすることは好きですか。」肯定 85%以上（R7：83.8%）。

学校の独自設定

- ・英語力 CEFR A1 以上の割合を 85%以上にする（R7：85.7%）。
- ・「授業で分からないことを質問しやすい」の肯定的回答を 85%以上にする（R7：81.3%）。

【学びを支える教育環境の充実】

〔通番 65〕年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、課題解決のために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」肯定 80%以上。

〔通番 71（例示参考）〕教員の月平均時間外勤務を 30 時間以下とする。

学校の独自設定

- ・年度目標アンケートにおける「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に情報の確かさを確認し注意していますか。」肯定 85%以上。（備忘録：R8 生徒アンケートに新設する！）

■ 3 本年度の自己評価結果の総括

（年度末に記入）

安全・安心な教育の推進 ― 目標別シート

評価基準 A：目標を上回って達成 B：目標どおり達成 C：取り組んだが未達成 D：ほとんど取り組みせず未達成

年度目標	達成状況
<p>〔通番 40〕 いじめ対応に係る「振り返りチェックシート」における「大阪市いじめ対策基本方針に基づいたいじめの対応を行っている」と回答する教員の割合を100%にする。</p> <p>〔通番 41〕 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度（4.8%）より減少させる。</p> <p>【学校の独自設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」肯定的回答 85%以上にする。 ・前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる（R7実績：50%）。 	（年度末記入）

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 1-1 いじめへの対応】（管理職・生活指導部）</p> <p>「いじめ防止基本方針（北稜モデル）」に基づく組織的対応を徹底する。いじめの疑い段階から「72 時間以内にすべきこと」に沿った初期対応を行い、被害生徒の安全確保と心の回復を最優先とする。「振り返りチェックシート」を全教員に実施し、北稜モデルの理解・実践を検証する。いじめ対策委員会を定例開催し、情報の組織共有を徹底する。</p>	（年度末記入）
<p>指標</p> <p>振り返りチェックシートの基本方針に基づく対応の回答率 100%。いじめアンケートを各学期 1 回以上＋臨時実施。いじめ対策委員会を月 1 回定例開催。（生活指導部）※職員会議と兼ねてカウント</p>	
<p>取組内容②【施策 1-1 いじめへの対応／部活動】（生活指導部・各部顧問）</p> <p>北稜モデル第 6 章に基づき、部活動内いじめ防止に取り組む。LINE 等私的 SNS グループは原則禁止とし、連絡は Google Classroom/Teams を活用する。「部活動いじめチェック項目（10 項目）」による定期点検を実施する。</p>	（年度末記入）
<p>指標</p> <p>チェック項目による点検を学期 1 回実施。（生活指導部・各部顧問）</p>	

<p>取組内容③【施策 1-1・2-1 いのち・人権教育】（生活指導部）</p> <p>「いじめ・いのちについて考える日」を年間計画に位置づけ、学年の状況に応じた独自教材で実践する。傍観を許さず「止める・離れる・知らせる」行動を道徳・学活を通じて具体的に指導する。「自分を大切にし、隣の人を大切にする」を日常のふるまいとして定着させる。</p>	<p>（年度末記入）</p>
<p>指標</p> <p>「いじめ・いのちについて考える日」の取り組みを年間3回以上実施。道徳授業における「いじめ」「いのち」に関する題材を各学年で計画的に扱う。（生活指導部・道徳推進委員会）</p>	
<p>取組内容④【施策 1-1 教育相談・スクリーニング】（生活指導部）</p> <p>教育相談を年3回全生徒対象で実施する。スクリーニング会議Ⅰを毎月、会議Ⅱを学期1回実施し、SSW・SC等と連携。「こころの天気」の変化には早期に声かけ・面談を行い、相談申告には原則当日中に一次応答する。「書いたら必ず大人が見て動く」ことを生徒に実感させ、活用の意味づけを丁寧に行う。</p>	<p>（年度末記入）</p>
<p>指標</p> <p>教育相談を年3回、スクリーニング会議Ⅰを毎月・Ⅱを学期1回実施。「こころの天気」肯定率をR7（69.5%）より向上させる。（生活指導部）</p>	
<p>取組内容⑤【施策 1-2 不登校への対応】（不登校担当・生活指導部）</p> <p>リソースルーム・ステップルームの運営を充実させ、利用生徒が個別目標に向けた活動を行えるようにする。総合教育センター研究校（3年目）の成果を校内に還元する。不登校生徒への授業配信を継続し、学びの保障を図る。</p>	<p>（年度末記入）</p>
<p>指標</p> <p>不登校在籍比率を前年度（4.8%）より減少させる。前年度不登校生徒の改善割合を増加させる。リソースルーム利用生徒の個別目標達成状況を学期ごとに確認。（不登校担当・生活指導部）</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p> <p>（年度末に記入）</p>	
<p>次年度への改善点</p> <p>（年度末に記入）</p>	

未来を切り拓く学力・体力の向上 — 目標別シート

評価基準 A：目標を上回って達成 B：目標どおり達成 C：取り組んだが未達成 D：ほとんど取り組めず未達成

年度目標	達成状況
<p>〔通番 51・52〕 チャレンジテスト国語・数学の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.03 ポイント向上させる。</p> <p>〔通番 62・63〕 体力合計点の対全国比を男女とも前年度より向上（R7 男子 0.926、女子 0.963）。「運動やスポーツが好き」肯定 85%以上。</p> <p>【学校の独自設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語力 CEFR A1 以上を 85%以上にする（R7：85.7%）。 ・「授業で分からないことを質問しやすい」の肯定的回答を 85%以上にする（R7：81.3%）。 	（年度末記入）

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑥【施策 4-1 授業改善・学力向上】（教務部・各教科）</p> <p>「わかる授業」づくりのため相互授業参観を計画的に実施し、授業規律と主体的な学びの質を学校全体で高める。「聞きたいけど聞きづらい」を減らすため、発問の工夫、ペア・グループでの確認場面の設定、失敗が笑いものにならない環境づくりに組織的に取り組む。小中連携として出前授業・相互参観を継続する。</p> <p>指標</p> <p>相互授業参観を年間2回以上実施。「授業で分からないことを質問しやすい」肯定率 85%以上（R7：81.3%）。（教務部・各教科）</p>	（年度末記入）
<p>取組内容⑦【施策 4-1 誰一人取り残さない学力の向上】（教務部・数学科・理科・英語科）</p> <p>数学・理科・英語の3教科で習熟度に応じた少人数授業を計画的に実践する。学力向上支援チーム事業（理科）を活用し授業力を向上させる。「リベラル・アーツ教育」を通じて読解力・言語能力の育成を図る。</p> <p>指標</p> <p>チャレンジテストの正答率 20%未満の生徒割合を前年度より減少させる。チャレンジテスト対府比を各学年前年度+0.03。（教務部・数学科・理科・英語科）</p>	（年度末記入）
<p>取組内容⑧【施策 4-3 英語力の向上】（英語科）</p>	（年度末記入）

<p>大阪市英語力調査で高水準を維持するため、4技能統合型の授業を充実させる。 デジタル教科書（英語）の効果的な活用を推進する。</p>	
<p>指標 英語力 CEFR A1 以上の割合 85%以上（R7：85.7%）。（英語科）</p>	
<p>取組内容⑨【施策 5-1 健やかな体の育成】（保健体育科） 男子の体力合計点（R7：39.1、全国 42.2）の改善を重点課題とし、体育授業の充実を図る。体育用具・グラウンドの整備を継続する。</p>	<p>（年度末記入）</p>
<p>指標 体力合計点の対全国比を男女とも前年度（男子 0.926、女子 0.963）より向上。「運動やスポーツが好き」肯定 85%以上。（健康教育部・保健体育科）</p>	
<p>取組内容⑩【施策 4-2 図書室・読書活動】（教務部・図書担当） 図書室の学習環境を整備し、読書活動と調べ学習の充実を図る。元気アップ事業やブックフェスタ等のイベントを継続し、来館者数の増加をめざす。</p>	<p>（年度末記入）</p>
<p>指標 図書室来館者数を前年度（延べ 2,761 名）より増加させる。（教務部・図書担当）</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析 （年度末に記入）</p>	
<p>次年度への改善点 （年度末に記入）</p>	

学びを支える教育環境の充実 — 目標別シート

評価基準 A：目標を上回って達成 B：目標どおり達成 C：取り組んだが未達成 D：ほとんど取り組みせず未達成

年度目標	達成状況
<p>〔通番 65〕 年度目標アンケートにおける「学習者用端末を活用して、課題解決のために情報を収集・整理し、まとめ・表現する取組をしていますか。」肯定 80%以上。</p> <p>〔通番 71・例示参考〕 教員の月平均時間外勤務を 30 時間以下とする。年 720 時間超の教員をゼロにする。</p> <p>【学校の独自設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に情報の確かさを確認し注意していますか。」肯定 85%以上。 	(年度末記入)

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容⑪【施策 6-1 教育 DX・ICT 活用】（ICT 推進委員会・教務部・各教科）</p> <p>学習者用端末とクラウド環境を効果的に活用し、個に応じた学習を促進する。R7 に更新された端末の活用を「毎日使うことが当たり前」として定着させる。不登校生徒への授業配信にも ICT を活用する。</p> <p>指標</p> <p>「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか」週 3 回以上の回答 70%以上。 (ICT 推進委員会・教務部)</p>	(年度末記入)
<p>取組内容⑫【施策 1-6・6-1 情報モラル・デジタルシティズンシップ】（生活指導部・ICT 担当教員）</p> <p>情報モラル教育を「禁止」中心ではなくデジタル・シティズンシップ（責任ある使い方）として位置づける。携帯安全教室を全校で年度当初に実施。北稜モデルに基づき「ネットトラブル時は削除・拡散の前に相談」を徹底する。</p> <p>指標</p> <p>携帯安全教室を全校実施。「情報の確かさを確認し注意している」肯定 85%以上。 (生活指導部・ICT 担当教員)</p>	(年度末記入)
<p>取組内容⑬【施策 7-1 教職員研修・資質向上】（管理職・不登校担当・メンタ</p>	(年度末記入)

<p>ー)</p> <p>いじめ対応研修（北稜モデル・事例検討・ロールプレイ含む）を定例実施する。不登校支援研修、安全管理研修を実施。若手教員（約6割）の指導力向上のためメンター研修を計画的に行う。</p>	
<p>指標</p> <p>いじめ対応研修を年2回以上。不登校支援研修を学期1回以上。（管理職・教務部・生活指導部・不登校支援担当・メンター）</p>	
<p>取組内容⑭【施策 7-1 働き方改革】（管理職）</p> <p>「ノー残業デイ」の定着、「ずらし勤務」の推奨、テレワークの活用により職場環境を充実させる。行事の精選と会議の効率化、校務支援システム活用による校務合理化を進める。職員朝礼を週1回とし連絡掲示板による情報共有を継続する。</p>	<p>（年度末記入）</p>
<p>指標</p> <p>夏季5日・冬季2日の学校閉庁日を設定。月平均時間外勤務30時間以下。（管理職）</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p> <p>（年度末に記入）</p>	
<p>次年度への改善点</p> <p>（年度末に記入）</p>	

令和8年度 学校関係者評価報告書

大阪市立北稜中学校協議会

■ 1 総括についての評価

(年度末に記入)

■ 2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

(年度末に記入)

■ 3 今後の学校園の運営についての意見

(年度末に記入)